

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：警察費 項：警察活動費 目：交通指導取締費

事業名 交通安全対策強化事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

警察本部 交通部 交通企画課 電話番号：058-271-2424(内5011)

E-mail：c18873@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 2,378 千円 (前年度予算額：2,840 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	2,840	0	0	0	0	0	0	0	2,840
要求額	2,378	0	0	0	0	0	0	0	2,378
決定額	2,378	0	0	0	0	0	0	0	2,378

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

道路交通の過密化や多様化が著しく進展する中、依然として高齢者の被害が高率を占め、更に横断歩行者妨害、飲酒運転等の悪質・危険な交通違反を伴う事故が絶えないなど厳しい状況が続いている。

安全安心な交通社会を実現するためには、道路交通を利用する全ての年齢層と交通利用者を対象とする、間断ない交通安全教育と広報啓発活動が必要不可欠である。

(2) 事業内容

シネマ・アドバタイジングを活用した交通安全広報

(3) 県負担・補助率の考え方

「第11次岐阜県交通安全計画」の目標達成に向けた各種交通安全対策は、県が取り組むべき対策であることから県負担は妥当である。

(4) 類似事業の有無

なし

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	2,378	交通安全広報事業（イオンシネマ）
合計	2,378	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「清流の国ぎふ」創生総合戦略

Ⅱ-2-(2)-⑤ 犯罪・交通事故防止の推進

「第11次岐阜県交通安全計画」

目標 交通事故のない 安全・安心な「清流の国ぎふ」を目指して

当面の目標 令和7年までに、年間の24時間死者数60人以下、重傷者数350人以下

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

「第11次岐阜県交通安全計画」に基づき、令和7年までに24時間死者数を60人以下に、重傷者数を350人以下とするため、各種対策を推進していく。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R3)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R7)	達成率
①交通事故死者数	61	75	60	60	60	

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和3年度	
令和4年度	<p>イオンシネマ各務原にて、16,501回、509,800人と幅広い年齢層に対して交通安全広報を実施し、令和4年末現在の死者数は75人で前年より14人増加したものの、現行の統計制度が始まった昭和23年以降3番目に少ない死者数であり、交通事故抑止に効果があった。</p> <p>指標① 目標：60 実績：75 達成率：80%</p>
令和5年度	<p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価) 3	安全で安心して暮らせる「清流の国ぎふ」づくりのため、交通事故防止の事業は最重要の施策であり、事業の必要性は高い
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 3	イオンシネマにて大勢の県民への交通安全広報を実施している。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価) 2	限られた予算の中で工夫して事業を実施し、交通事故の減少に効果を上げている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 急速に進む高齢化社会において、全交通事故死者に占める高齢者の比率は高止まりの傾向にあり、これがそのまま交通事故死者の減少の障害となっており、高齢者対策が必要となっている。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 「第11次岐阜県交通安全計画」の目標達成に向けて、参加・体験・実践型の交通安全教育を特に高齢者を中心として継続的かつ強力で推進していく。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】